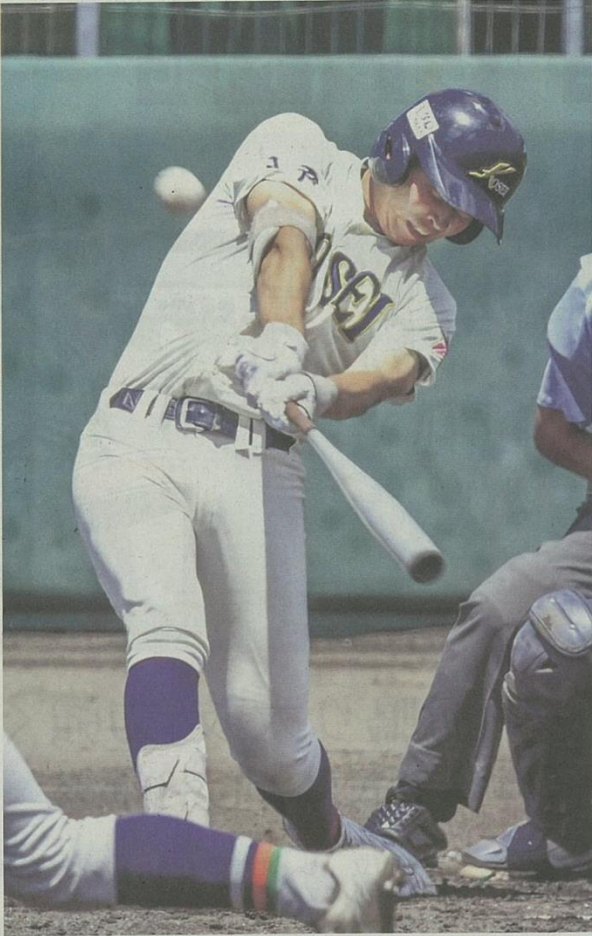


【3位決定戦・八学光星 工大一】4回八学光星2死一塁、野呂洋翔が右越えに本塁打を打ち、8-0とする。八戸長根



前日から一転、打線爆発

準決勝の鬱憤を晴らすような戦いぶりだった。前日、わずか4安打と温った八学光星打線は、同地区のライバルである工大一に2本塁打を含む13安打を浴びせ、堂々コールド勝ち。今大会初めて4番に座り、2点本塁打を含む2安打4打点と気を吐いた野呂洋翔は「浮いたストライクを強く打つというのを全体で意識したのが結果につながった」とうなずいた。

「打の光星」がらしきを取り戻した。仲井宗基監督が「ストライクからボールに行く変化球の見極めができていた」と評価する通り、打線はボール球にもやみに手を出さず、甘い球を鋭くスイング。スタメンが全員安打を達成するなど、相手投手を完全攻略した。四回にはチーム本来の高い打撃力を誇示するように、野呂が強い逆風を物ともせず、真ん中低めの直球を右翼生席に運んだ。

投げては、今大会初先発の宇田海希が低めのコースをテンポ良く突き、2安打零封。「打撃陣のおかげで、良いリズムで投げられたと仲間に感謝した。夏の青森大会には第3シードとして臨むことになった。野呂は「悔しさを持ってチームを鍛え直し、絶対に甲子園に行く」と巻き返しを誓った。

（福田駿）

光星3位

“らしき”取り戻し大勝

青森県 春季高校野球

最終日

春季青森県高校野球選手権最終日は29日、八戸市長根球場で決勝と3位決定戦が行われた。決勝では、青森山田が弘学聖愛に大勝し、3年ぶり12度目の優勝を果たした。3位決定戦では八学光星が工大一に5回コールド勝ちした。優勝した青森山田と準優勝の弘学聖愛は春季東北大会（6月7～12日・福島市ほか）に出場する。組み合わせは同日に決まる。

（取材班）

決勝

青森山田 003022050 | 12
弘学聖愛 100000100 | 2

（青）相馬、馬場一鈴木
（弘）津川、寺田、佐藤、葛西一工藤天
▷本塁打 森川、馬場（青）工藤遼、清藤（弘）
▷二塁打 久永（青）葛西（弘）▷暴投 馬場（青）佐藤、葛西（弘）
▷試合時間 2時間31分
（球審＝石田、塁審＝小田、中村、二又）

【評】青森山田は1点を追う三回、森川の左越え3点本塁打で勝ち越し。八回には馬場の3点本塁打などで5点を奪い、大きく突き放した。弘学聖愛はソロ本塁打2本による2点止まり。3、4番手投手が11四球と制球が乱れ、ピンチを招いた。

3位決定戦

八学光星 10451 | 11
工大一 00000 | 0

（5回コールド）

（八）宇田一文元
（工）廣野、白石、村木一葛西
▷本塁打 井坂、野呂（八）
▷二塁打 織笠、中澤、野呂（八）砂（工）
▷暴投 廣野（工）
▷試合時間 1時間25分
（球審＝梅田、塁審＝木村均、蝦名、権谷）

【評】八学光星が投打で圧倒した。1点リードで迎えた三回、井坂の2点本塁打を含めて4得点。四回には野呂の2点本塁打など打者一巡の猛攻で5点を加えた。先発の宇田は2安打零封。工大一は先発廣野が四回途中10失点で降板。打線もつながりを欠いた。